

## 6 社会資本整備の推進

### (5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

#### 国への提案事項

#### 広島市東部地区連続立体交差事業の着実な推進に必要な財政措置

交通の円滑化，市街地の分断の解消及び踏切の安全確保を実現し，まちづくりを促進する連続立体交差事業の実施には，長期的に多額の事業費が必要であるため，着実な事業推進に必要な財政措置を行うこと。

広島市東部地区連続立体交差事業  
(安芸郡府中町～海田町)



鉄道高架と関連街路の整備イメージ(広島市安芸区付近)

【提案先省庁:財務省,国土交通省】

## 6 社会資本整備の推進

### (5) 交通の円滑化などによりまちづくりを促進する連続立体交差事業の推進

#### 現 状

##### 【地域の状況】

広島都市圏東部地域では、鉄道による市街地分断が効率的な基盤整備を阻害

踏切が多数(16箇所)あり、踏切遮断による交通渋滞や踏切事故が発生

##### 【取組の状況】

令和2年6月に 期区間である向洋駅周辺における工事基本協定を県、広島市及びJR西日本の3者で締結し、同年10月に工事着手

早期の事業効果発現に向け、向洋駅仮跨線橋、仮駅舎及び仮線路など本格的な鉄道工事を推進中

##### 【国の対応状況】

令和元年度より連続立体交差事業の個別補助制度を創設

#### 課 題

広島市東部地区連続立体交差事業の実施には

**長期的に多額の事業費が必要**

**着実に事業推進できる財政措置が必要**

**財政状況の厳しい地方負担の軽減が必要**

事業区間内の「緊急に対策の検討が必要な踏切」

多くの歩行者に踏切遮断の影響

1時間当たり最大約44分の踏切遮断



青崎第10踏切(府中町)  
(歩行者ボトルネック踏切)



新町踏切(海田町)  
(開かずの踏切)

#### 連続立体交差事業と連携したまちづくり

